

おとかわあ Information

大歳自治振興会役員、自治会長の紹介です

以下のように、新しく役員が決まりました。よろしくお願いします。

自治会長

豊国マンション	中野 啓
富田原	水岡 隆廣
今井上	吉屋 成人
今井下	山田 博信
上湯田上	山根 修二
周布団地	片山 慎次
上湯田下	斉藤 嘉澄
穂積県営住宅	長沼 実
上矢原	三井 基宏
中矢原	石井貫太郎
矢原住宅	多田 弘和
矢原第2住宅	上田佳代子
下矢原	内野喜代志
西矢原	井上修次郎
下湯田	中谷 克則
黒川市	上田 穰治
岩富	眞田 神司
坂東	植木 友晴
鴨原	村田 雅之
勝井	田中 良幸
三作	平田 佳洋
高井住宅下	品川久美子
高井	白松 久助
和田	小田 二郎
朝田	武波 哲雄
河内	村崎 利雄
馬庭	佐々木登代子
山口朝田ヒルズ	中川 裕樹
朝田南	中川 隆司

大歳まちづくり協議会

各団体長

会長	馬越 帝介
副会長	石井貫太郎
副会長	野々村壽代
自治会活性化部会長	品川久美子
健康福祉部会長	西本 國生
安心安全部会長	米屋 泰宏
文化スポーツ部会長	升田 正通
こども部会長	田中 友恵
交流列車おとし運営委員長	勝井 勝治
広報委員長	武波 義明
地区社会福祉協議会	野々村壽代
民生児童委員協議会	藤村 雄三
特別林野委員会委員	西本 國生
市消防団鴻南方面隊大歳分団	藤井 良彦
地域交流センター運営協議会	馬越 帝介
地域交流センター後援会	藤村 彰一
消防後援会	豊嶋 正典
大歳地区老人クラブ連合会	後藤 健公
青少年健全育成協議会	馬越 帝介
小学校PTA	古田伸太郎
子ども会育成連絡協議会	田中 友恵
交通安全対策協議会	今井 清文
商工業振興会	兼重 正
福祉員協議会	宮成 恵臣
体育振興会	山根 一男
大歳なすの会	伊藤 俊子
食生活改善推進協議会	青木恵美子
母子保健推進協議会	松本喜代美
自治会長会	石井貫太郎

保存版

(4月23日現在)

馬越 帝介
石井貫太郎
野々村壽代
品川久美子
西本 國生
米屋 泰宏
升田 正通
田中 友恵
勝井 勝治
武波 義明
野々村壽代
藤村 雄三
西本 國生
藤井 良彦
馬越 帝介
藤村 彰一
豊嶋 正典
後藤 健公
馬越 帝介
古田伸太郎
田中 友恵
今井 清文
兼重 正
宮成 恵臣
山根 一男
伊藤 俊子
青木恵美子
松本喜代美
石井貫太郎



こどもの日 特集 子どもの声が響き渡る大歳を目指して ～子ども会活動再生の取り組み～

4月4日(日)、子ども会活動の未来について、お集りいただいております。

子ども会の主役は子ども



田中友恵さん

写真の子どもたちを見てください。この様子を見ていただければ私たちの活動の様子が伝わります。従来からの子ども会は内容から諸準備まで親が企画、運営をし「子ども会に入ると役員が回ってくるなんてごめんだ」という意見が今日までありました。子ども会の主役は子ども達、この本来の組織をどう立て直そうかととても悩んだと田中さん(新 こども部会長)は言います。

ジュニアリーダー(中・高校生)を育てて



山本典夫さん

田中さんは、6年前初めて山口市子ども会育成連絡協議会(市子連)の研修会に参加したとき、高校生のジュニアが総括をし、大人は見守りに徹している姿に感銘を受けました。まさか子ども会の対象が全国的に高校生までの広い組織だったなんて知らなかった、無知だったと。大歳地区にもこの

システムがあれば活動のヒントを得て、ジュニアの中高校生の育成に力を入れ、彼らに企画運営を任せてみると、ものすごい力を発揮したのです。彼らの力はすごいと感動しました。



宮原奈津子さん

また、今の時代に合う子ども会にしたいとも思い、中高生の活動の目的をESDとSDGs※に繋げられるよう考えました。今では異年齢の縦割りが大歳に出来て小学生の子どもたちにも良い影響を与える中高生に成長しています。同席した市子連役員の山本さん(大内地区子ども会 会長)も「ジュニアが計画から運営までをやってくれるので育成者の親は見守るだけで十分なんです。スイッチが入ると子ども達は伸びます」と太鼓判を押します。

大歳地区在住の宮原奈津子さんは「大歳に転居して来て子ども達の活動の場があるのだと初めて知りました。なんでも話し合え、支えあえる仲間づくりの場があったんですね。ぜひ参加させたいです」と言っておりました。

これからの新しい大歳地区子ども会の発展を期待したいですね。

※SDGs: 国連が掲げているSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)のこと。ESD(Education for Sustainable Development)は同 持続可能な開発のための教育。

行/事/予/定 5~7月

- 5月16日(日) 第64回大歳地区分館対抗ソフトボール大会 10月以降に延期 【榎野川運動公園】
- 5月22日(土) 大歳小学校運動会【大歳小学校グラウンド】
- 5月30日(日) 健康づくり・絆・交流の輪グラウンドゴルフ大会【大歳小学校】
- 6月13日(日) 第44回大歳地区分館対抗バレーボール大会 10月以降に延期 【スポーツ文化センター】
- 6月27日(日) 第44回大歳地区卓球大会【大歳小体育館】 10月以降に延期

編集 後記

調べてみると、令和2年の大歳地域の4月1日の人口は13,890人、6,732世帯で、4年前の平成28年の同月比で人口765人増、世帯数592増でした。そして自治会員(法人・準会委員含む)は、4,527人、99人増でした。(白上)

ゴミ問題
特集1

ゴミ出しルールを守りましょう！ 近くに便利な施設があります

止まらぬゴミの不法投棄。自治会役員のエネルギーの多くが、ゴミ収集場に不法に出され、収集されなかったゴミの処理に充てられるという異常事態が続いています。

ゴミ収集日に出し忘れても、下記のものなら、ここに持って来れば24時間出す事ができます。

周布町資源物ステーション（周布町2-1 石州街道沿い、山大通りとの交差点近く）

プラスチック容器、包装ビニール類
ペットボトル、ビン・缶、金属・小型家電
その他 蛍光灯・乾電池・スプレー缶・カセットボンベ・水銀体温計
大歳にあるのは大変ラッキーなことです。活用しましょう。

大歳地域交流センター（大歳小学校ななめ前）

蛍光灯・乾電池・スプレー缶・カセットボンベ・水銀体温計は**建物西側のカゴ**へ
小型家電や小型バッテリーは新たに**回収ボックス**へ（館内設置のため17時までに）
ボックス投入口（40×20cm）から入る大きさのものまで
小型バッテリー（電動自転車など）は必ず外して持参を

他の地域
をのぞいて
みました

住民参加のゴミ収集場

吉敷・佐畑自治会

吉敷交流センター横に設置されています。燃えるゴミ以外の決められたゴミはすべて出せます。

回収日 土・日 自治会の班から立会人が参加し、ゴミ出しを指導します。（大変ですが、これに参加することで、出せるゴミの確認ができ、不法ゴミ出しはなくなったそうです。）



ゴミの立会人

Welcome
Ootoshi

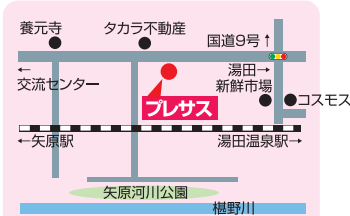
好評！

大歳の気になるお店

プログラミング教室



株式会社 プレサス



山口市矢原823-5
営業時間／9:00～18:00
TEL／083-902-5685
定休日／土、日曜日、祭日
駐車場／3台有

ゴミのポイ捨て許さない！と大歳を見回る
山口市環境美化協力員の山下さんゴミ問題
特集2

山下十三さん

山下さんは山口市環境美化協力員で、毎月大歳中を見回って市に報告しています。ゴミ問題解決のため、頑張る人がここにもいます。

深刻な海洋汚染 NO！

プラスチックによる海洋汚染が大きな問題に。「大歳は関係ないと思っている人が多いようだが、とんでもない」と山下さん。橋の上から、川をのぞくと、なんとたくさんのごみが散乱していることか。一番多いのが袋につつんだコンビニ弁当の空箱です。これが海に流れ込んで、汚染を進めているのです。

やめて！野鳥保護区の暗闇利用ポイ捨て

榎野川の土手道は野鳥保護のため、あえて街灯をつけていません。野鳥とともに暮らす大歳の良さをアピールする道路です。ところが、この道路沿いが最もごみのポイ捨てが多いのです。「暗くて、誰も見てないからと捨てるなんて絶対ダメ」と子どもの頃から言われて育ったはずですが。

看板を立てると、ごみが減る現実って

ごみが捨てられている所に看板をたてると、俄然ポイ捨てが減ります。看板がなければ、気がゆるんでついゴミを捨ててしまうのでは困ります。逆に、ごみ袋を持ち、手袋姿で散歩されている方にあいました。こんな方が増えるとポイ捨てはなくなるでしょうと、山下さん。



↑石津橋下のゴミ



ゴミの看板→

石州街道「通行封鎖」

宿駅・黒川宿
しゅくえき

石州街道幕末事件簿 其の6

大内時代に「市」が立っていた黒川市は、江戸時代には、公用や商人の書状、荷物など通送する宿駅（継場）になり、天保期（1831～1844年頃）には、人夫23人と伝馬10疋で、村民は農業のかたわら持ち回りで従事していました。宿駅の役割が顕著になるのは、幕末に藩庁が萩から山口に移転し、石州街道が通行封鎖されてからです。石州街道は地方からの役人、そして戦時となれば、急便が往来する道に変わっていきます。封鎖で減少したのは他国人の往来であって藩内の公用通行は逆に激増し、小郡・津市から山口藩庁までの中間地の黒川宿は収入を得ていた他国人の通行はなくなり、無報酬の公用の馬や諸役人の飛脚が増え、経験をしたことない通行量になります。（註）公務が増えた黒川宿は、人夫や伝馬への増恩米を願っています。その結果、人夫の数は天保期に比べ、同数ですが、伝馬は12疋に増え、増恩米は文久3（1863）年9月から慶応2（1866）年8月までの3年間、毎年、米15石八升が支

給されます。そして、この援助は明治と改元される前の慶応4（1868）年まで延期されます。石州街道は通行封鎖されてから様相は変わり、大歳近辺でもいろんな事件が起き、黒川宿も志士や諸隊が行きかいました。明治に移行するこの時期の緊迫した雰囲気は街道から聞こえてくるようです。街道筋の人々の苦労は大変なものでした。

（註）幕府軍との緊張が高まった元治元（1864）年9月には、石州街道を含め藩内に、迅速な伝達を確保する「続飛脚」体制がつけられます。



恵美須杜



黒川市

大歳まちづくり協議会 総会開催

大歳自治振興会から「大歳まちづくり協議会」に名称変更を4月に行いました。地域の皆さんに地域づくりやまちづくりをやる組織だとすぐにご理解いただけるように名称を変更いたしました。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、大歳まちづくり協議会総会を4月18日(日)に大晃アリーナで開催しました。総会でまちづくり協議会会長に 馬越 帝介さん、副会長に 石井 貫太郎さん(自治会長会会長)と副会長 野々村 壽代さん(大歳地区社協会会長)が選任され、令和2年度事業計画、決算案と令和3年度の事業計画、予算案が承認されました。これまでまちづくりにご尽力いただいた水岡会長は退任されました。大変お疲れさまでした。大歳地域づくり計画は12年目に入ります。地域の皆さんが地域づくりに参画され活気のある大歳にしていきたいと思ひます。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 事業実績・決算

【自主財源】

収入の部(総額:4,957,981円)

会 費：自治会員会費

交 付 金：市道除草業務委託金、緑化奨励金等

負 担 金：地区社会福祉協議会、
活動推進委員会等人件費負担金等

支出の部(総額:3,342,236円)

事 業 費：草刈り隊による道路維持事業の実施
(体育祭ふしの川クリーンキャンペーンはコロナの為中止)

団体助成費：青少年健全育成活動や女性部会活動への助成

負 担 金：市自治会連合会、特別林野区への負担金等

事務局運営費：事務局員給与、健康診断料等

繰 越 金：次年度へ繰越



【地域づくり活動交付金財源】

収入の部(総額:11,630,050円)

交 付 金：地域づくり活動交付金等

支出の部(総額:11,175,016円)

地 域 振 興：かわら版の発行、
転入時のチラシ作成等

地 域 福 祉：安心カード配布等

安 心 安 全：反射鏡設置補助、わんわんパトロールグッズ作成等

環境づくり：法定外公共物等整備事業補助、
幸福神社設置等

地域個性創出：1自治会1事業実施支援、花づくり講習会実施等
(夏まつり、おとし祭り、体育祭はコロナの為中止)

協議会運営：事務局人件費、備品購入、保守管理等



令和3年度 事業計画・予算

[自主財源]

収入の部(予算額:4,455,800円)

会 費：自治会員会費

負担金：地区社会福祉協議会、
活動推進委員会、交流列車おとし人件費負担金

支出の部(予算額:4,455,800円)

事業費：体育祭や草刈り隊による道路維持事業の実施等

団体助成費：青少年健全育成活動や
女性部会活動等への助成

負担金：市自治会連合会、特別林野区への負担金等
事務局運営費：事務局員人件費等



[地域づくり活動交付金財源]

収入の部(予算額:11,630,000円)

交付金：地域づくり活動交付金等

支出の部(予算額:11,630,000円)

地域振興：かわら版の発行、フォトコン実施等

地域福祉：安心カード配布、サロン交流会協力等

安心安全：おとし防災の日イベント開催、反射鏡設置助成等

環境づくり：法定外公共物等整備事業補助、幸福神社設置等

地域個性創出：体育祭、夏まつり、おとし祭りの実施、

1自治会1事業実施支援等

協議会運営：事務局人件費、備品、会議費等

